（2026.9.11）

グラフで見るインド経済　2026 年9月号（No. 201）

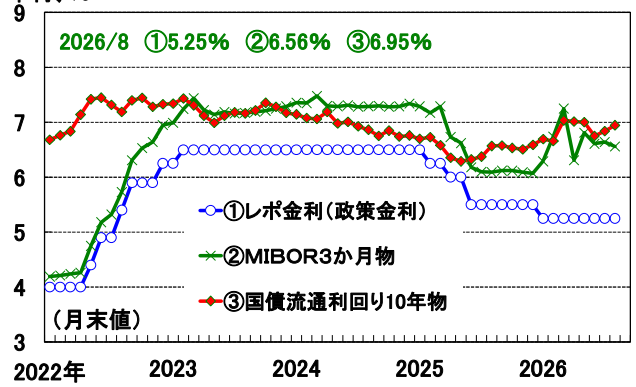
2026年4～6月期のインドの実質GDP（国内総生産）は前年比+7．8%と、前期（同+8．6%）に比べて成長率が低下した。内訳をみると、総資本形成や最終消費支出が減速した。一方、直近の月次指標をみると、モディ政権による物品・サービス税（消費税に相当）の大幅な引き下げを背景に、7月の新車販売台数（当社試算の季節調整値）が47．4万台と過去最高を更新するなど、個人消費は堅調に推移した。中国向けの堅調な増加や米国向けの持ち直しなどを背景に、7月の輸出は前年比+19．5%と前月に比べて伸びが高まった。

【足元の景気判断】

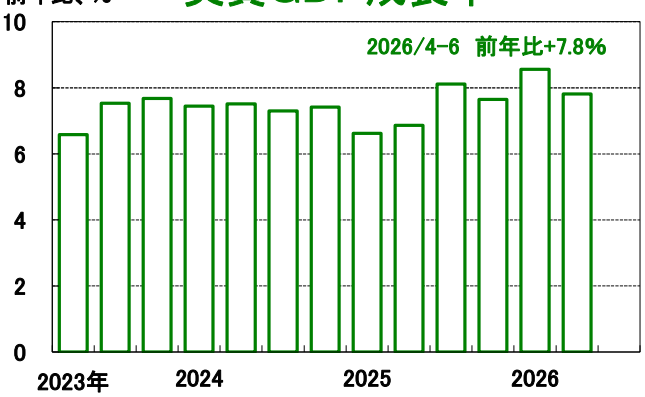
指標	景気全般	輸出	新車販売	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	⇨	⇨	↑	↑	↓

（注）矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

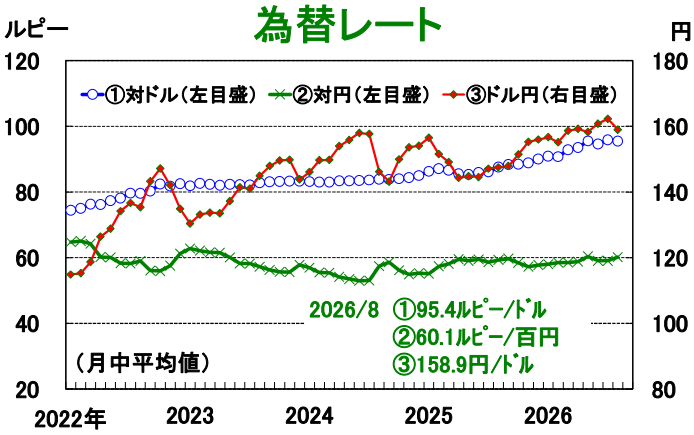
金　利



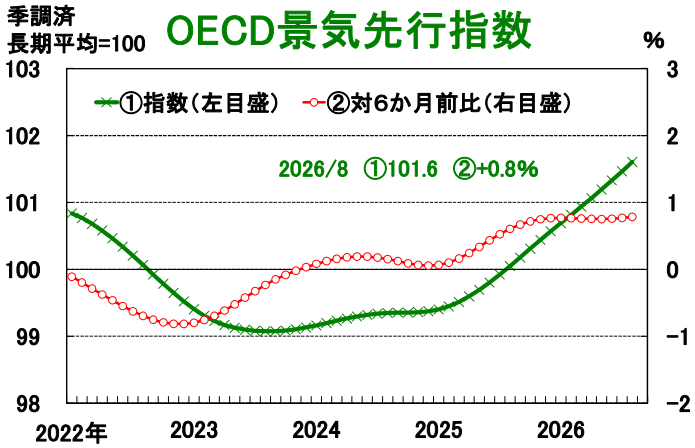
実質GDP成長率



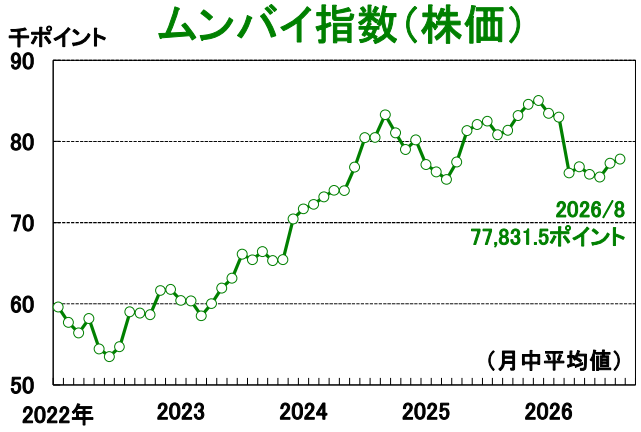
為替レート



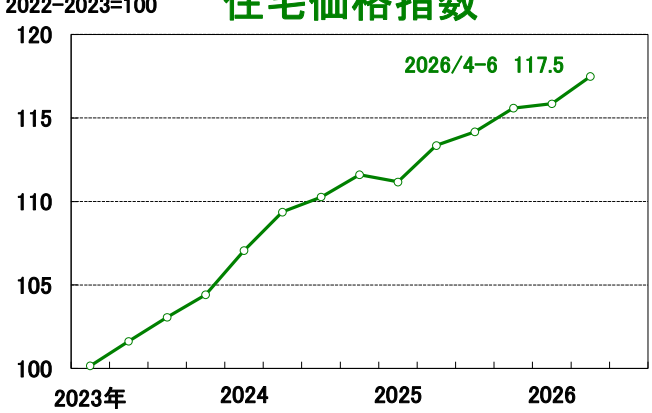
OECD景気先行指数



ムンバイ指数（株価）



住宅価格指数

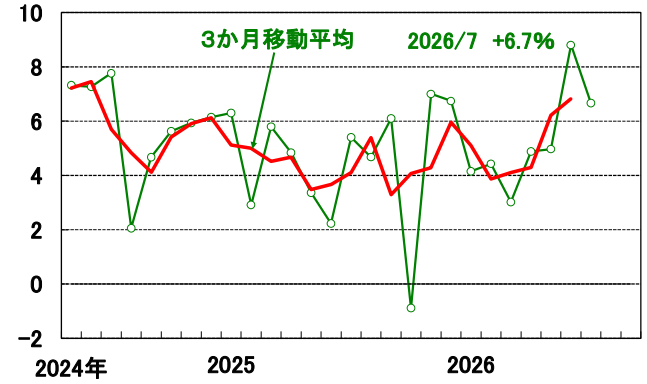


（出所）インド準備銀行、インド統計・計画実施省、ＯＥＣＤ、ＣＥＩＣ、ブルームバーグ

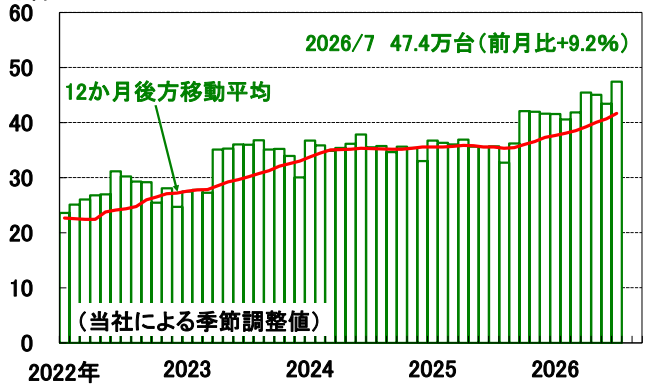
本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

グラフで見るインド経済　2026 年9月号

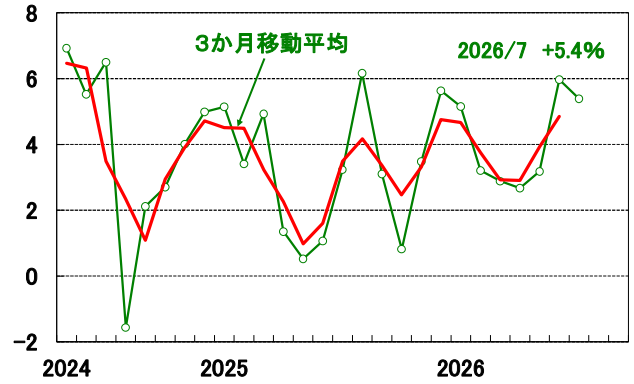
鉱工業生産指数



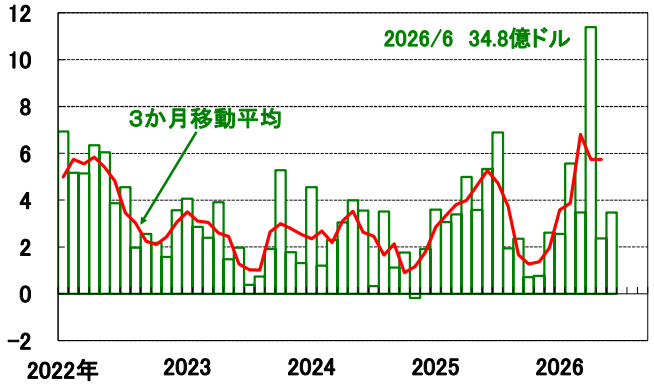
新車販売台数(乗用車)



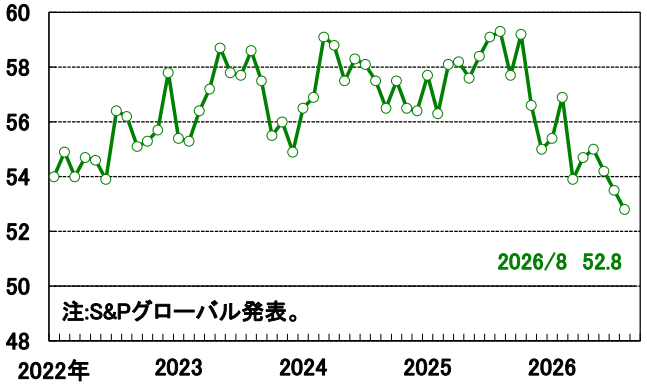
コア産業生産指数



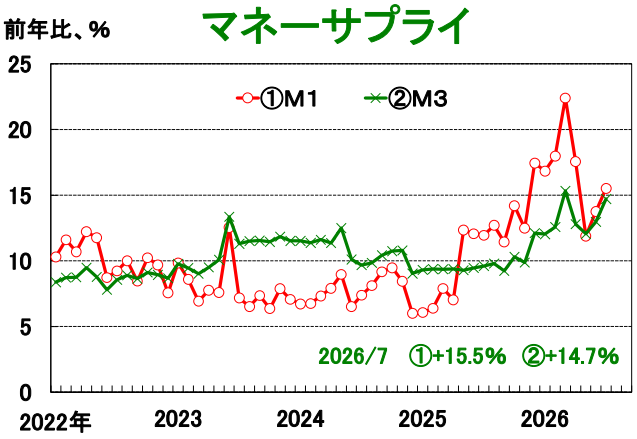
直接投資純流入額



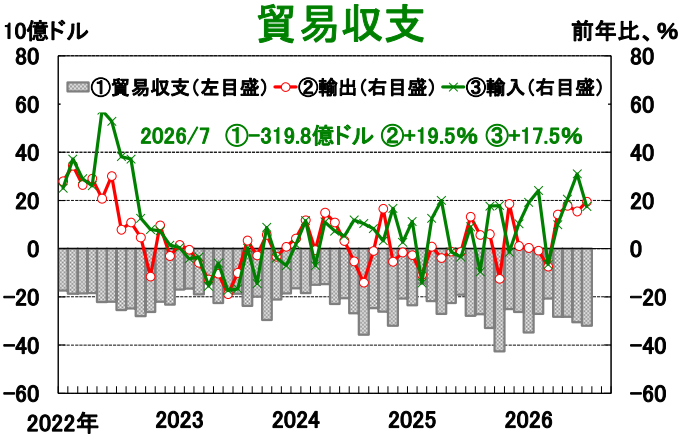
製造業PMI



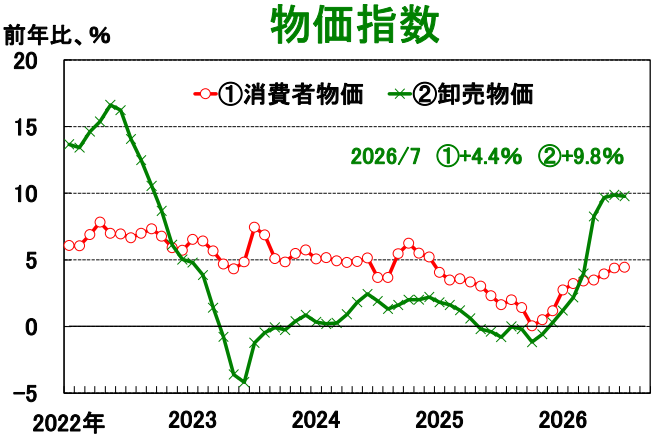
マネーサプライ



貿易収支



物価指数



（出所）インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、ＣＥＩＣ、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。